

目次

[質問](#)

[環境](#)

[症状](#)

[ケース 1](#)

[ケース 2](#)

[ケース 3](#)

質問

どのように Cisco Web セキュリティ アプライアンスを使用するために Google Earth を得ますか。

環境

Google Earth 4.2

症状

クライアントが Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA) に接続される時アプリケーション Google Earth ははたらきません。これは WSA のクライアントまたは認証必要条件のプロキシ 設定の結果である場合もあります。

ケース 1

サーバは達することができないことを WSA、エラーコード 26 または示すメッセージを通して Google Earth を使用しているとき見られます。WSA がネットワークの明示モードで設定される場合、プロキシを使用するために Google Earth を設定する必要があります。

これは Internet Explorer のいくつかの変更を行なうことによって実行することができます:

1. "Start" を クリックする、選択して下さい「コントロール パネル」。を
2. ダブルクリックして下さい「インターネット オプション」。を
3. 「接続」タブを選択して下さい。
4. "LAN Settings." を クリックする
5. 「プロキシサーバの下で、使用 LAN のためのプロキシサーバ」を」選択し、「プロキシ情報を入力して下さい。
6. これが完了したら、これらの変更を保存すること「良い」選択して下さい。

ケース 2

必要な失敗した認証/資格情報を示すメッセージとの WSA によって Google Earth がはたらいしていません。要求を処理するために認証が必要となれば Google Earth は認証する方法を必要とします。この問題を回避するために、Google Earth サーバのための認証を免除する必要があります。

認証免除からの Google Earth を免除するため:

6.x の下の AsyncOS バージョンに関しては:

1. WSA GUI で、「Web セキュリティ マネージャに」参照して下さい。
2. 宛先 認証免除 > 宛先を選択して下さい。
3. アドレスを- kh.google.com、geo.keyhole.com および auth.keyhole.com、.pack.google.com、pack.google.com、mw1.google.com、clients1.google.com、earth.google.com、maps.google.com、maps.gstatic.com、csi.gstatic.com および .gstatic.com 追加して下さい。
4. 変更を保存して下さい。

AsyncOS 6.x およびそれ以降に関しては:

1. 「宛先 認証免除宛先」と呼ばれる新しいカスタム URL ポリシーを作成し、リストに kh.google.com、geo.keyhole.com、auth.keyhole.com、.pack.google.com、pack.google.com、mw1.google.com、clients1.google.com、earth.google.com、maps.google.com および maps.gstatic.com を追加して下さい。
2. 「アプリケーション バイパス識別」と呼ばれる識別を作成し、必要な認証に設定して下さい。Advanced セクションで、「宛先 認証免除宛先」と指名される URL カテゴリを選択して下さい。
3. 「アプリケーション バイパス ポリシー」と呼ばれるアクセスポリシーを作成し、それに「アプリケーション バイパス識別」を割り当てて下さい。今認証のための Google Earth 要求をバイパスします。

ケース 3

ネットワークトラフィックが WSA に透過的にリダイレクトされる場合、Google Earth クライアントは透過的な認証要求に応答することができ、失敗は発生します。

これらのシナリオでは、WSA はクライアントの IP アドレスに基づいてユーザーの資格情報をキャッシュするために設定することができます。この場合クライアントから前 Webトラフィックがずっとある限り、Google Earth クライアントは再認証される必要はありません。

AsyncOS 6.x およびそれ以降の場合、これは設定することができます: ネットワーク > 認証 > サロゲート型: IP アドレス。